

# 札幌市

## 要介護（支援）認定者意向調査

### 報告書（概要版）

#### 目次

1	調査の概要	1
2	回答者ご本人について	2
3	介護保険との関わり	4
4	介護（予防）サービスの利用状況	6
5	介護（予防）サービス未利用の方の状況	8
6	今後の暮らし方	9
7	介護保険料と介護サービス	11
8	介護者の状況	12
9	家族介護者の状況（家族介護者への質問）	13



# 1

## 調査の概要

### 〔調査の目的〕

本調査は、介護保険サービスの利用状況や家族による介護の状況などを把握し、令和3年度を始期とする新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定や介護保険事業の実施に当たっての基礎資料とすることを目的として実施した。

### 〔調査対象〕

令和元年11月1日時点で要介護（支援）認定を受けている札幌市民（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の利用者を除く）から5,000人を無作為に抽出した。

### 〔調査方法〕

郵送による調査票の発送・回収

### 〔調査期間〕

令和元年12月1日 ～ 令和元年12月24日（調査基準日：令和元年12月1日）

### 〔回収状況〕

発送数	5,000件
回収数	2,873件（57.5%）
有効回収数	2,870件（57.4%）

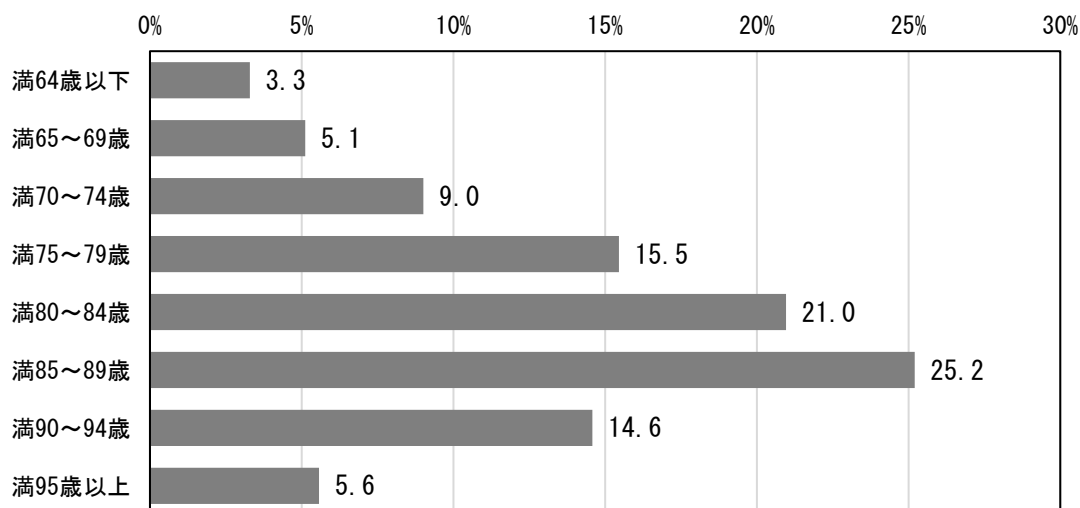
## 2

## 回答者ご本人について

## ◆ 年齢

- ・現在の年齢については、「満 85～89 歳」が 25.2%と最も多く、次いで、「満 80～84 歳」が 21.0%、「満 75～79 歳」が 15.5%となっている。

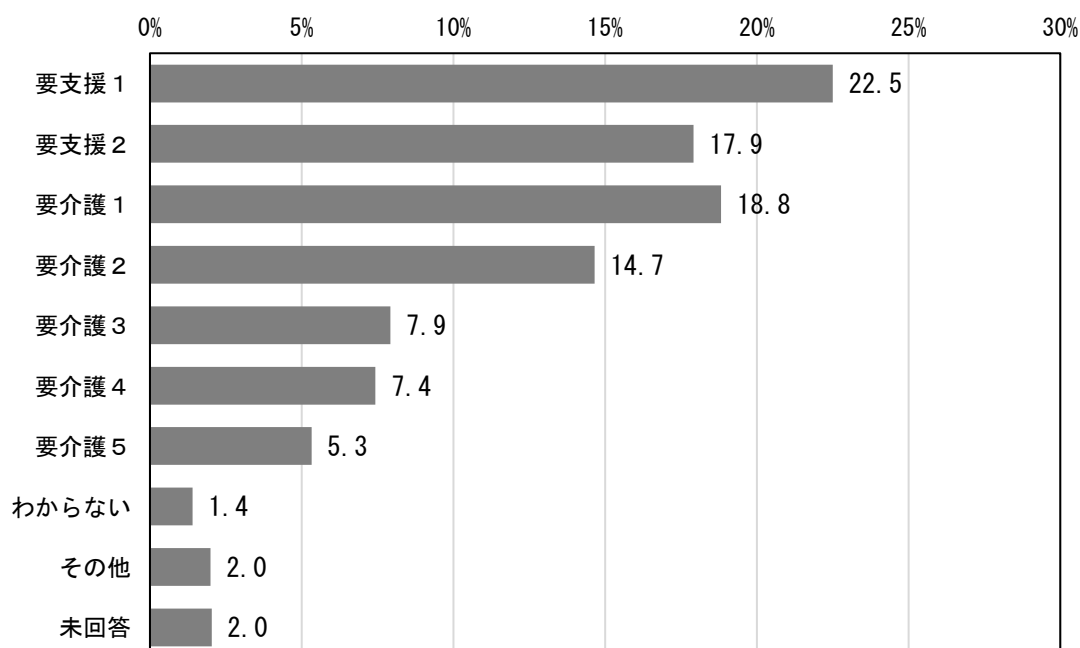
(N=2, 853)



## ◆ 介護度

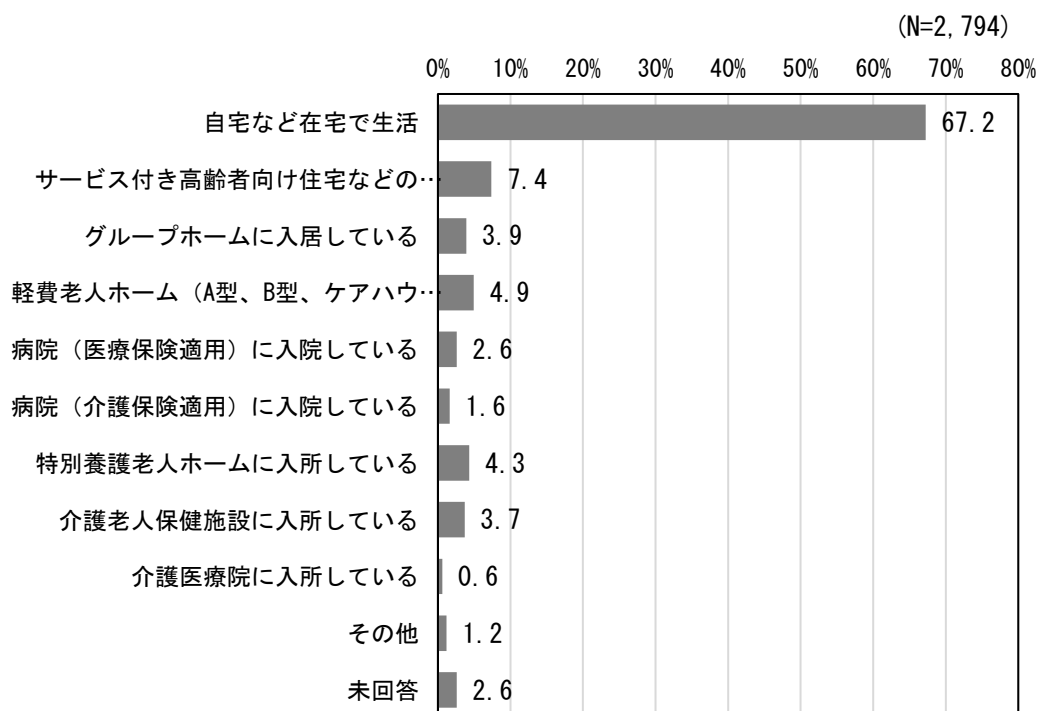
- ・介護度については、「要支援 1」が 22.5%と最も多く、次いで、「要介護 1」が 18.8%、「要支援 2」が 17.9%となっている。

(N=2, 853)



## ◆ 現在の生活場所

- ・現在の生活場所については、「自宅など在宅で生活」が67.2%と最も多く、次いで、「サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅で生活」が7.4%となっている。

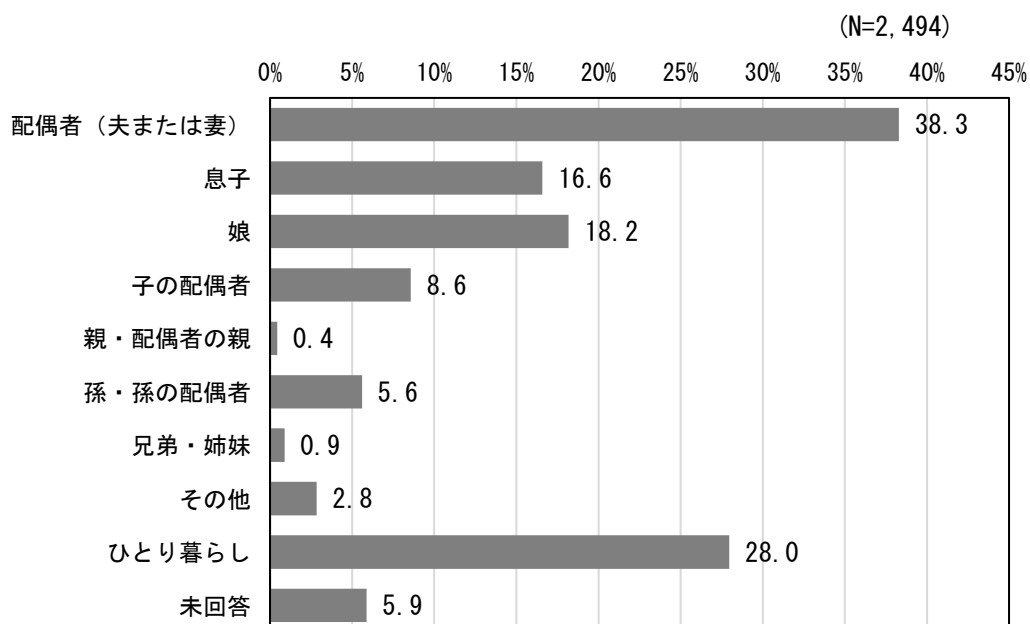


※「サービス付き高齢者向け住宅」とは、安否確認や生活相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供するバリアフリー構造の住宅です。

## ◆ 同居者の状況

(複数回答)

- ・同居者の状況については、「配偶者（夫または妻）」が38.3%と最も多く、次いで、「ひとり暮らし」が28.0%、「娘」が18.2%となっている。



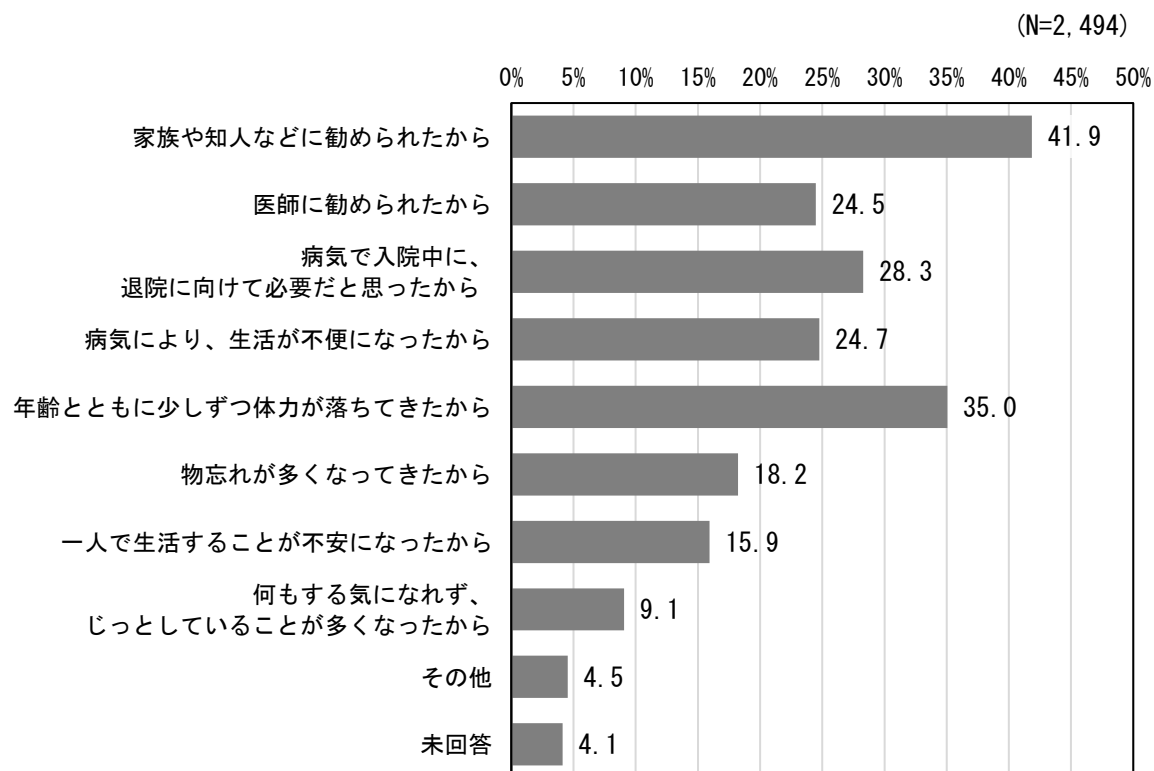
## 3

## 介護保険との関わり

## ◆ 認定を受けたきっかけ

(複数回答)

- ・認定を受けたきっかけについては、「家族や知人などに勧められたから」が41.9%と最も多く、次いで、「年齢とともに少しずつ体力が落ちてきたから」が35.0%、「病気で入院中に、退院に向けて必要だと思ったから」が28.3%となっている。

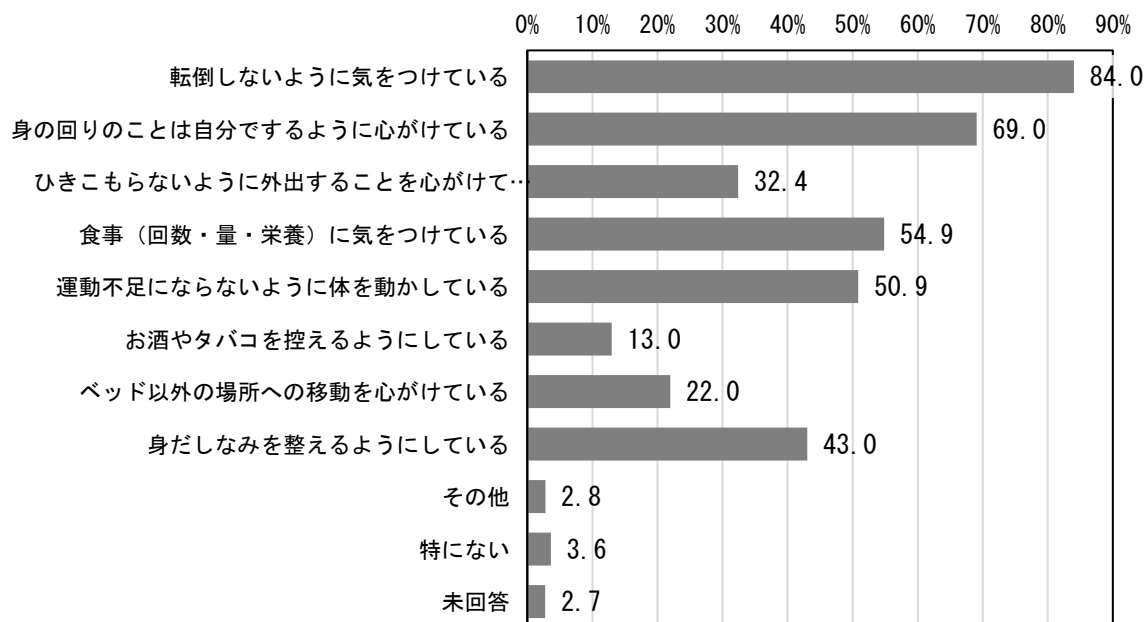


◆ 介護度が重くならないように気をつけていること

(複数回答)

- ・介護度が重くならないように気をつけていることについては、「転倒しないように気をつけている」が84.0%と最も多く、次いで、「身の回りのことは自分でするように心がけている」が69.0%、「食事（回数・量・栄養）に気をつけている」が54.9%となっている。

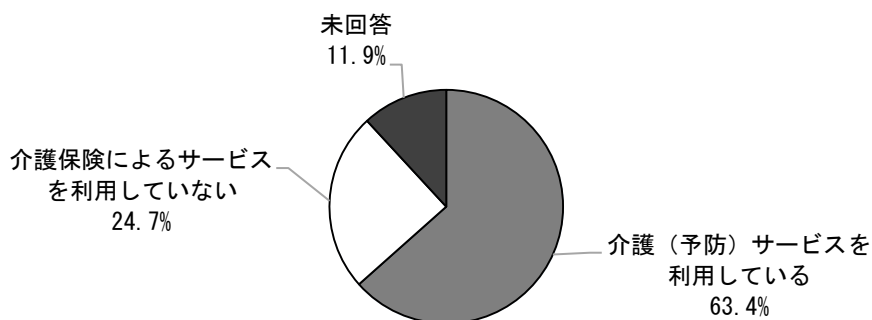
(N=2,494)



◆ 介護サービス利用の有無

- ・介護サービス利用の有無については、「介護（予防）サービスを利用している」が63.4%、「介護保険によるサービスを利用していない」が24.7%となっている。

(N=2,494)



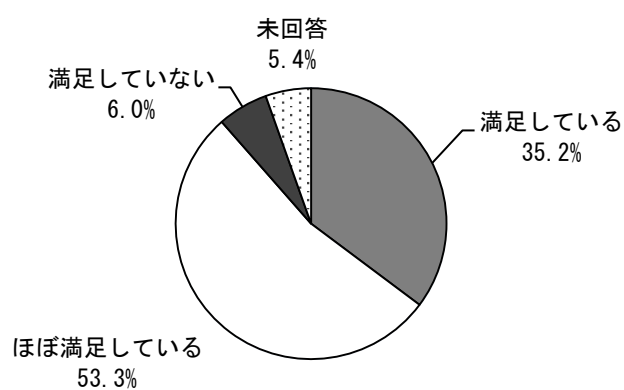
## 4

## 介護（予防）サービスの利用状況

## ◆ サービス全体量の満足度

- ・ サービス全体量の満足度については、「ほぼ満足している」が53.3%と最も多く、次いで、「満足している」が35.2%、「満足していない」が6.0%となっている。

(N=1,692)

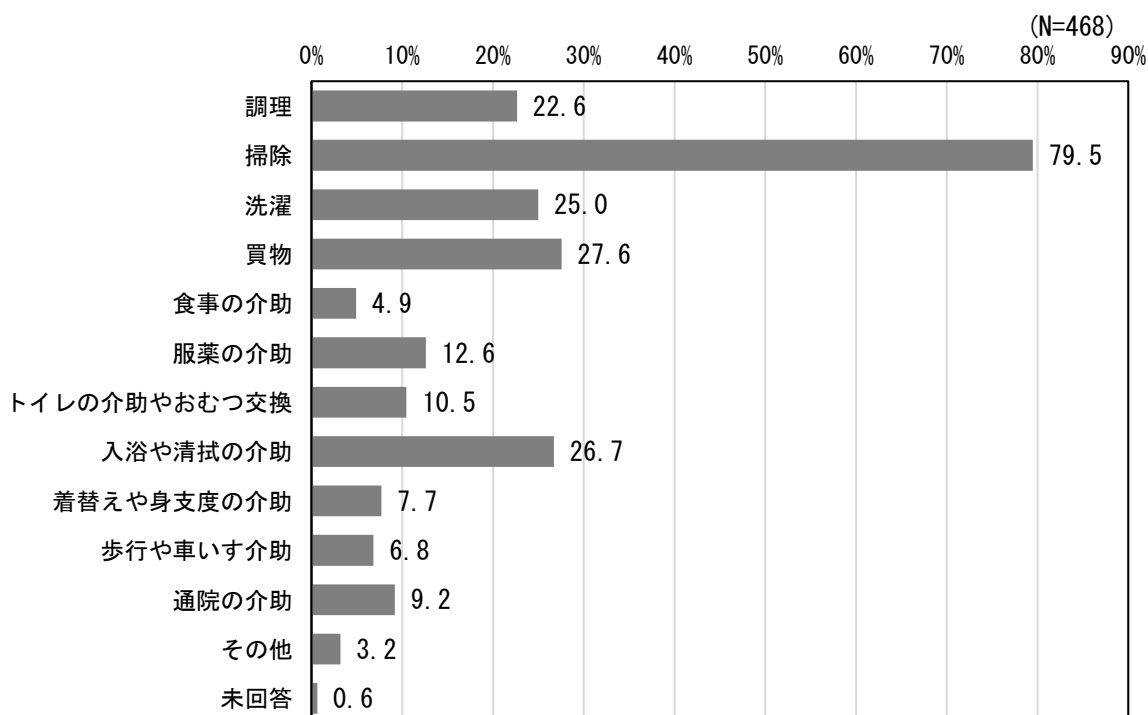




## ◆ 訪問介護の利用状況

(複数回答)

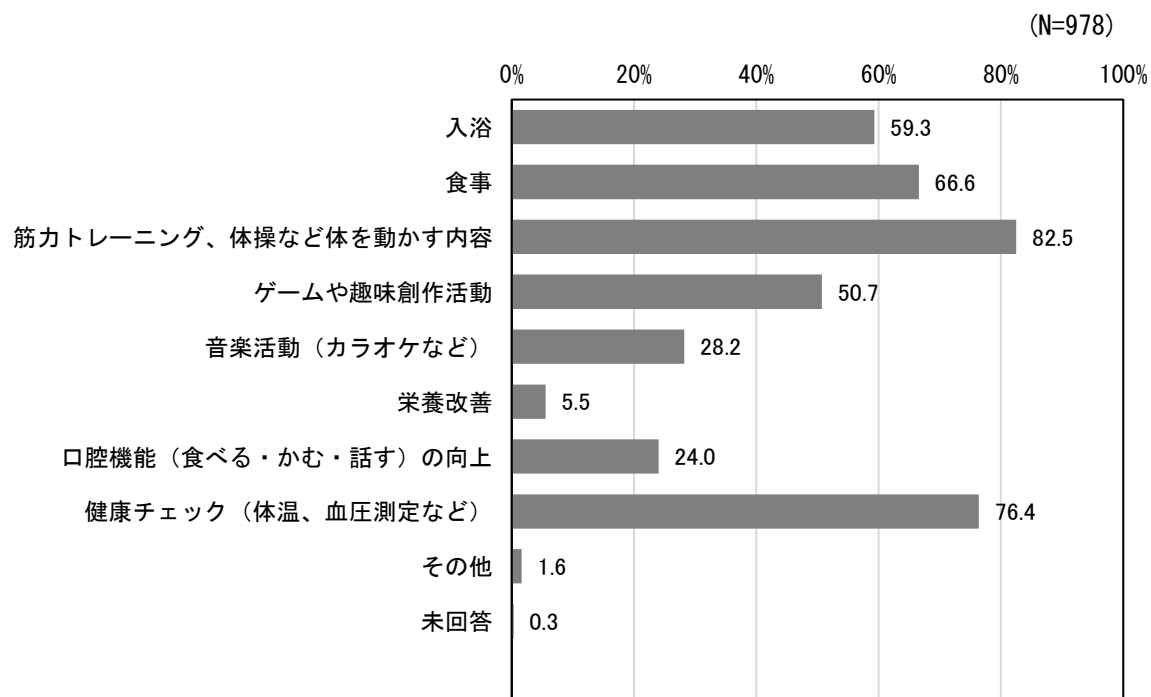
- ・訪問介護の利用状況については、「掃除」が79.5%と最も多く、次いで、「買物」が27.6%、「入浴や清拭の介助」が26.7%となっている。



## ◆ 通所介護の利用状況

(複数回答)

- ・通所介護の利用状況については、「筋力トレーニング、体操など体を動かす内容」が82.5%と最も多く、次いで、「健康チェック（体温、血圧測定など）」が76.4%、「食事」が66.6%となっている。



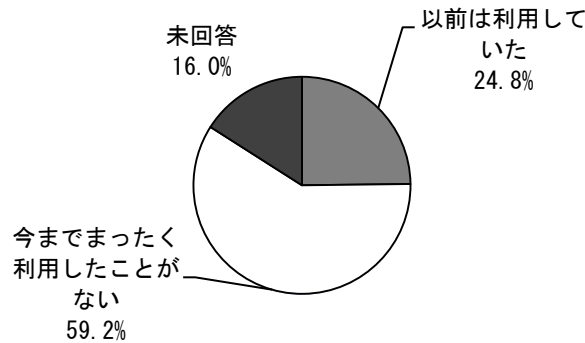
## 5

## 介護（予防）サービス未利用の方の状況

## ◆ サービスの利用経験

- ・サービスの利用経験については、「今までまったく利用したことがない」が59.2%、「以前は利用していた」が24.8%となっている。

(N=645)

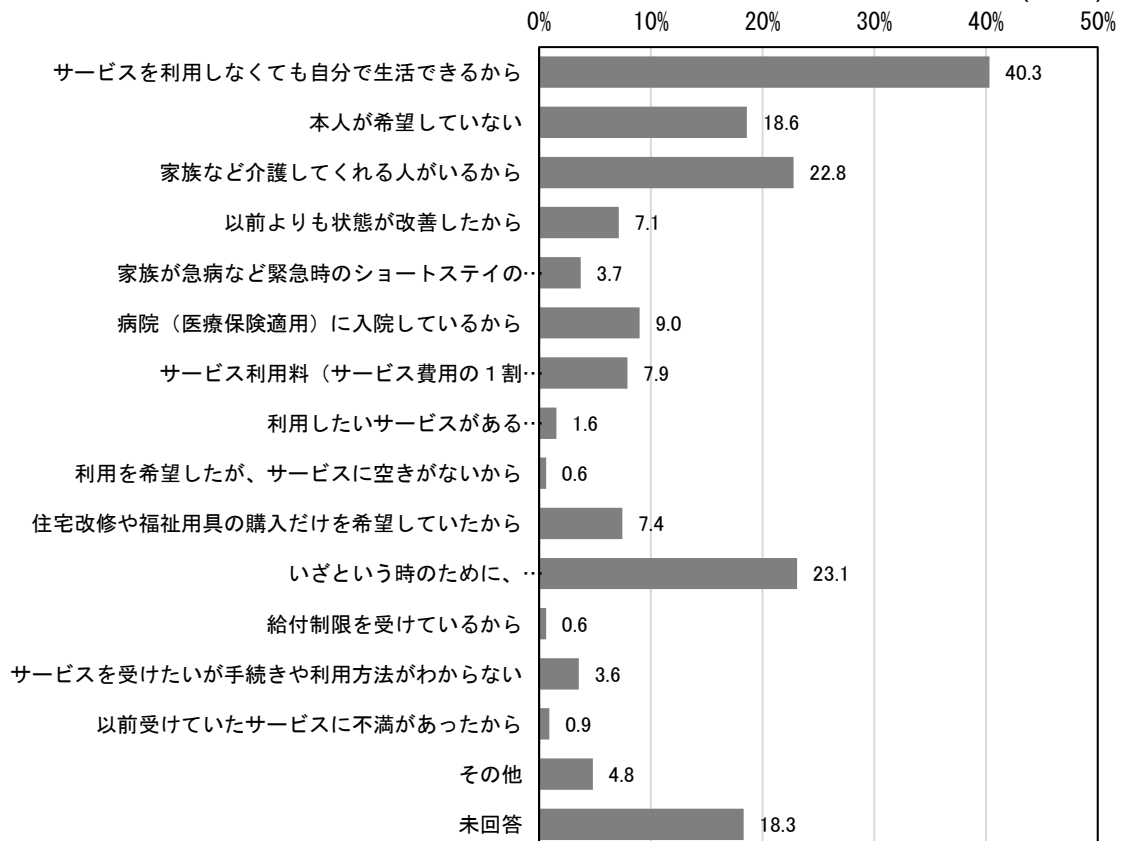


## ◆ サービスを利用していない理由

(複数回答)

- ・サービスを利用していない理由については、「サービスを利用しなくても自分で生活できるから」が40.3%と最も多く、次いで、「いざという時のために、とりあえず要介護（支援）認定申請したから」が23.1%、「家族など介護してくれる人がいるから」が22.8%となっている。

(N=645)

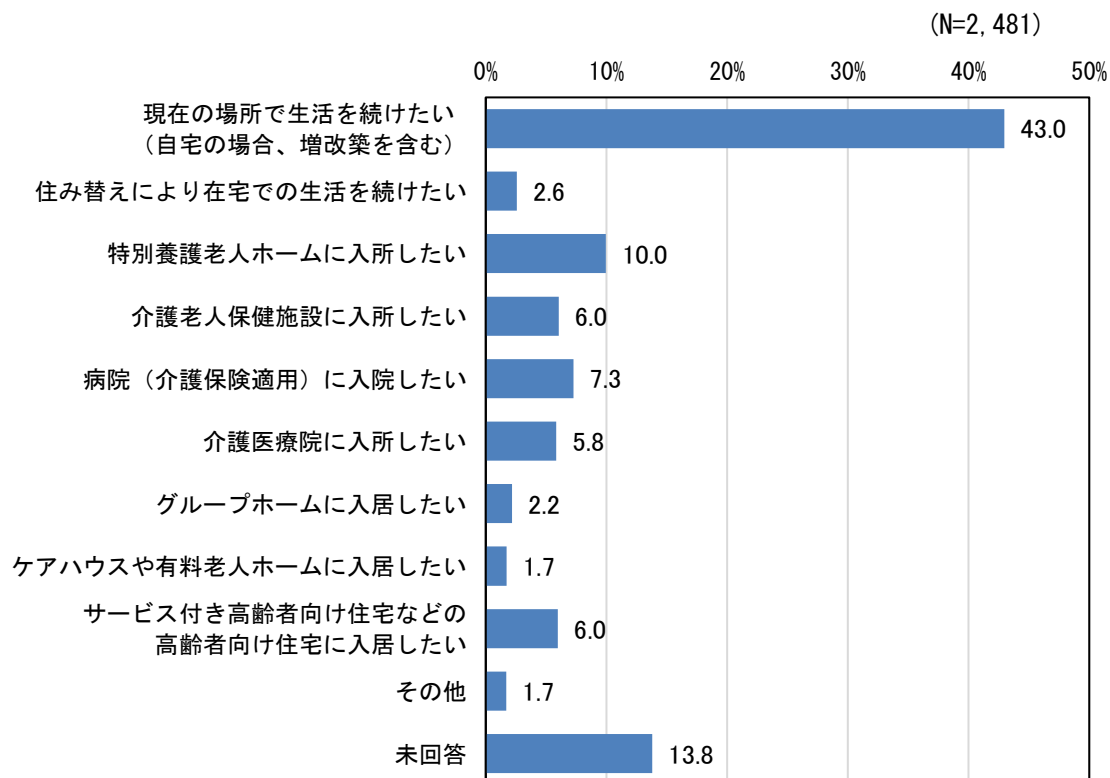


## 6

## 今後の暮らし方

## ◆ 介護度が重くなったときの生活場所

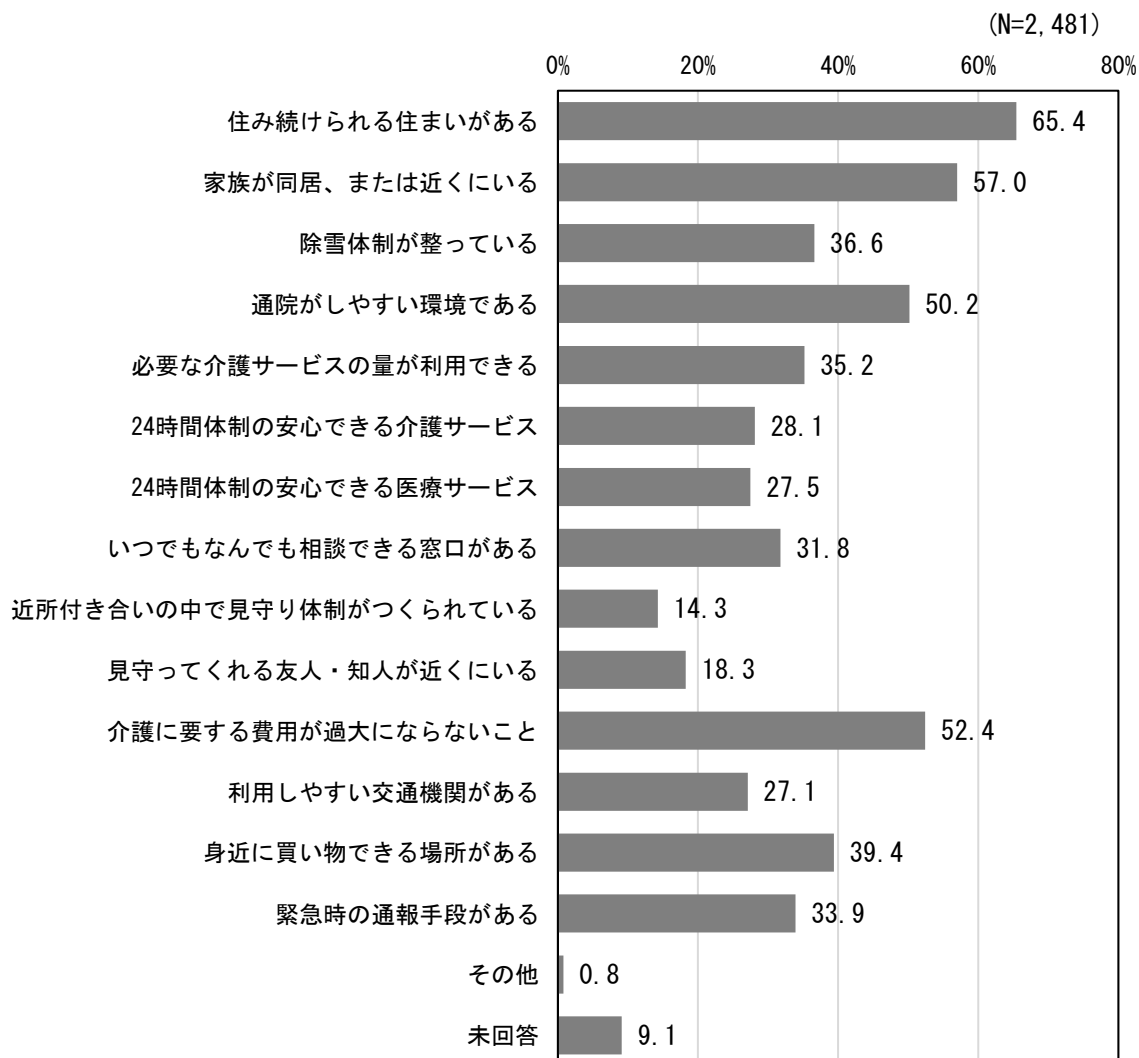
- ・介護度が重くなったときの生活場所については、「現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増改築を含む）」が43.0%と最も多く、次いで、「特別養護老人ホームに入所したい」が10.0%、「病院（介護保険適用）に入院したい」が7.3%となっている。



## ◆ 住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと

(複数回答)

- ・住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことについては、「住み続けられる住まいがある」が65.4%と最も多く、次いで、「家族が同居、または近くにいる」が57.0%、「介護に要する費用が過大にならないこと」が52.4%となっている。

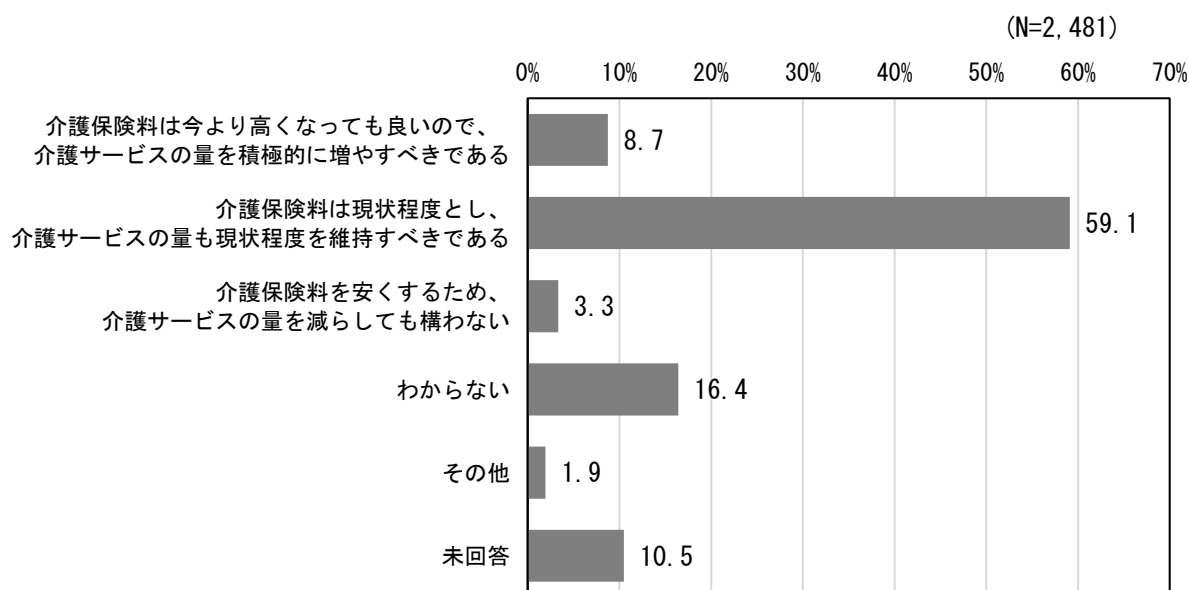


## 7

## 介護保険料と介護サービス

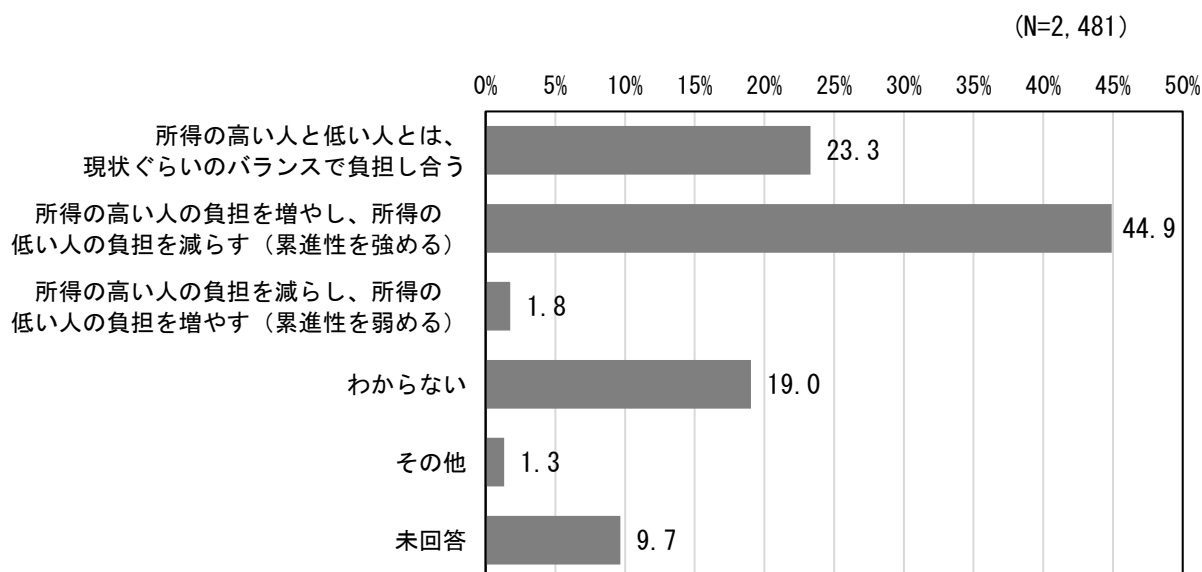
## ◆ 介護サービスと保険料の関係について

- ・介護サービスと保険料の関係については、「介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである」が 59.1%と最も多く、次いで、「わからない」が 16.4%、となっている。



## ◆ 今後の介護保険料の負担のあり方

- ・今後の介護保険料負担については、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」が 44.9%と最も多く、次いで、「所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う」が 23.3%、「わからない」が 19.0%となっている。

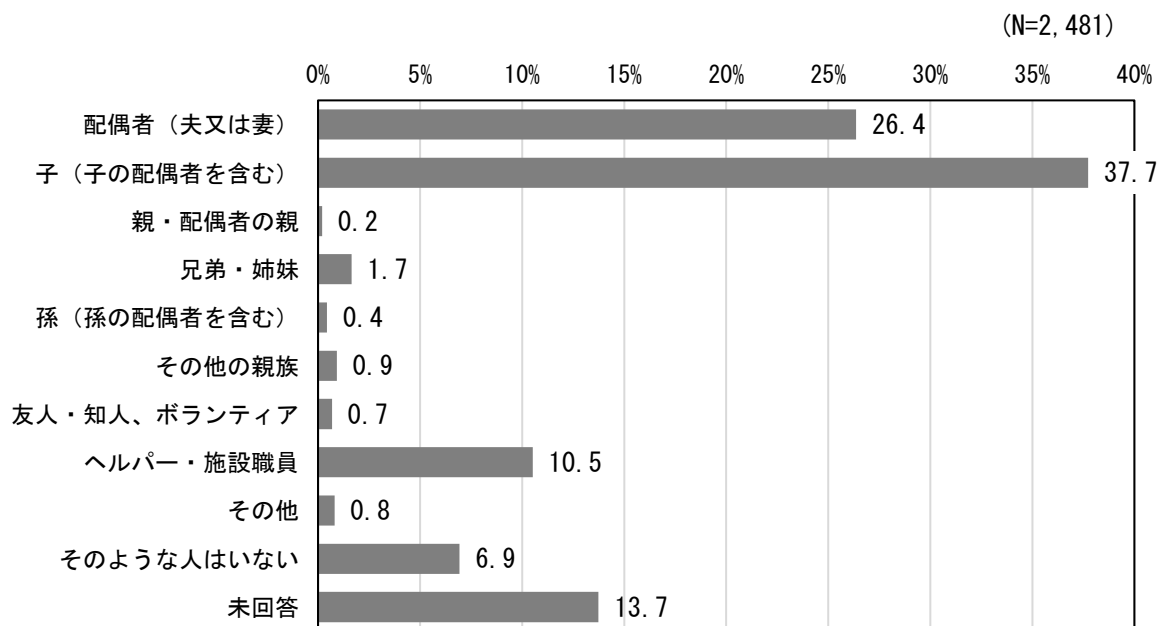


## 8

## 介護者の状況

## ◆ 主な介護者の続柄

- ・主な介護者の続柄については、「子（子の配偶者を含む）」が37.7%と最も多く、次いで、「配偶者（夫または妻）」が26.4%となっている。



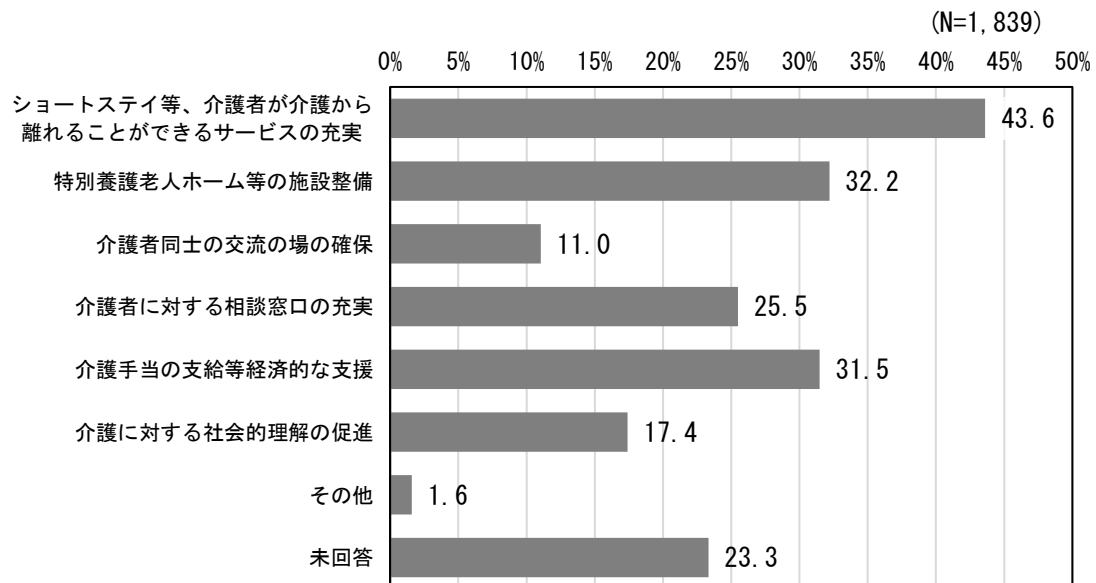
## 9

## 家族介護者の状況（家族介護者への質問）

## ◆ 介護者支援として重要なこと

（複数回答）

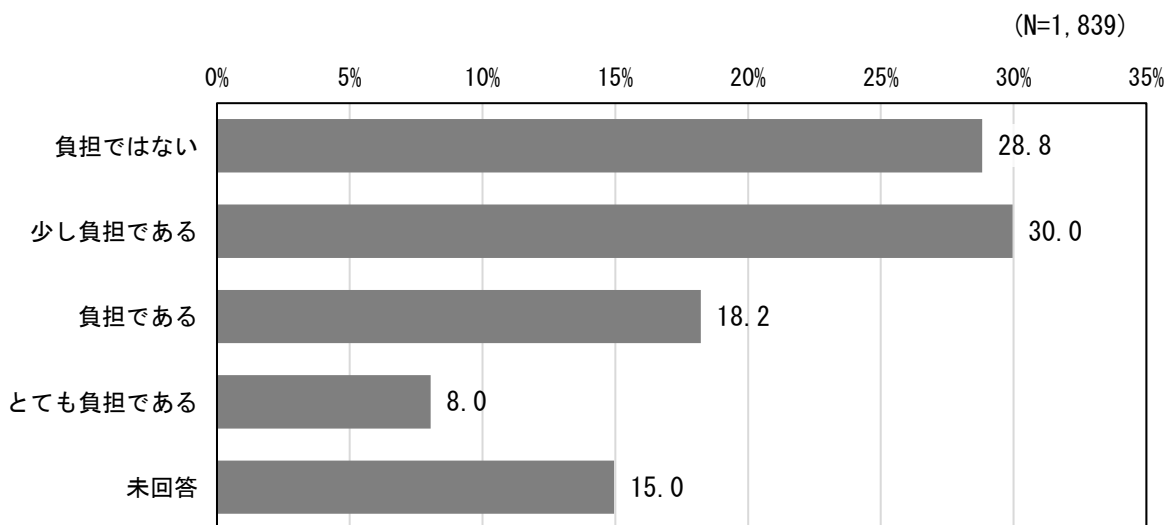
- ・介護者支援として重要なことについては、「ショートステイ等、介護者が介護から離れることができるサービスの充実」が43.6%と最も多く、次いで、「特別養護老人ホーム等の施設整備」が32.2%、「介護手当の支給等経済的な支援」が31.5%となっている。



## ◆ 介護の負担感と介護をしていて負担に感じること

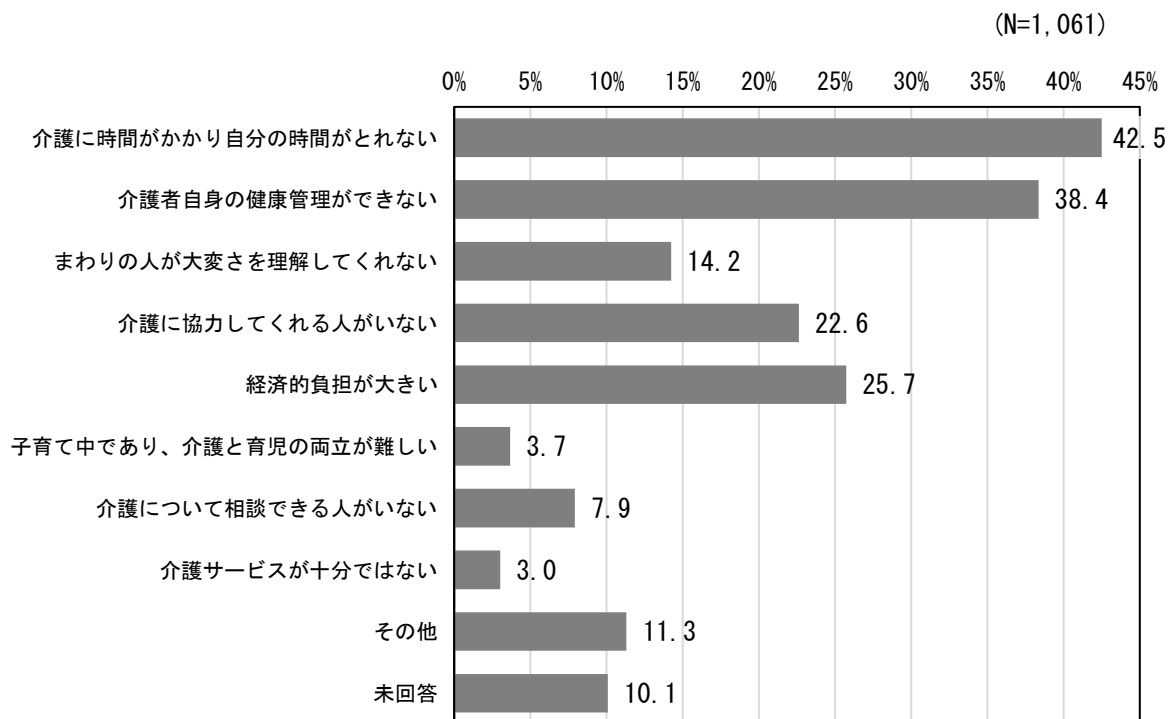
### 【介護の負担感】

・介護の負担感については、「少し負担である」が30.0%と最も多く、次いで、「負担ではない」が28.8%、「負担である」が18.2%となっている。



### 【介護をしていて負担に感じること（複数回答）】

・「少し負担である」「負担である」「とても負担である」と答えた人に介護をしていて負担に感じることを聞いたところ、「介護に時間がかかり自分の時間がとれない」が42.5%と最も多く、次いで、「介護者自身の健康管理ができない」が38.4%、「経済的負担が大きい」が25.7%となっている。

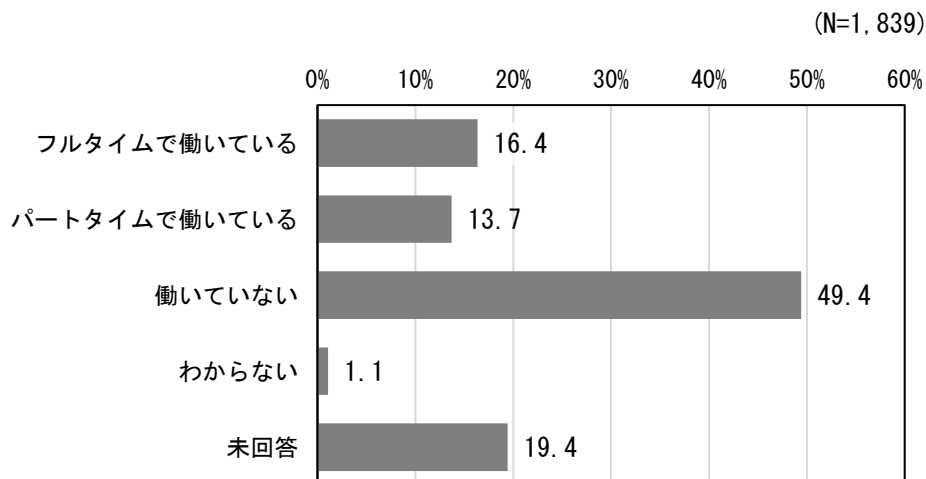




## ◆ 介護者の勤務形態と働き方の調整について

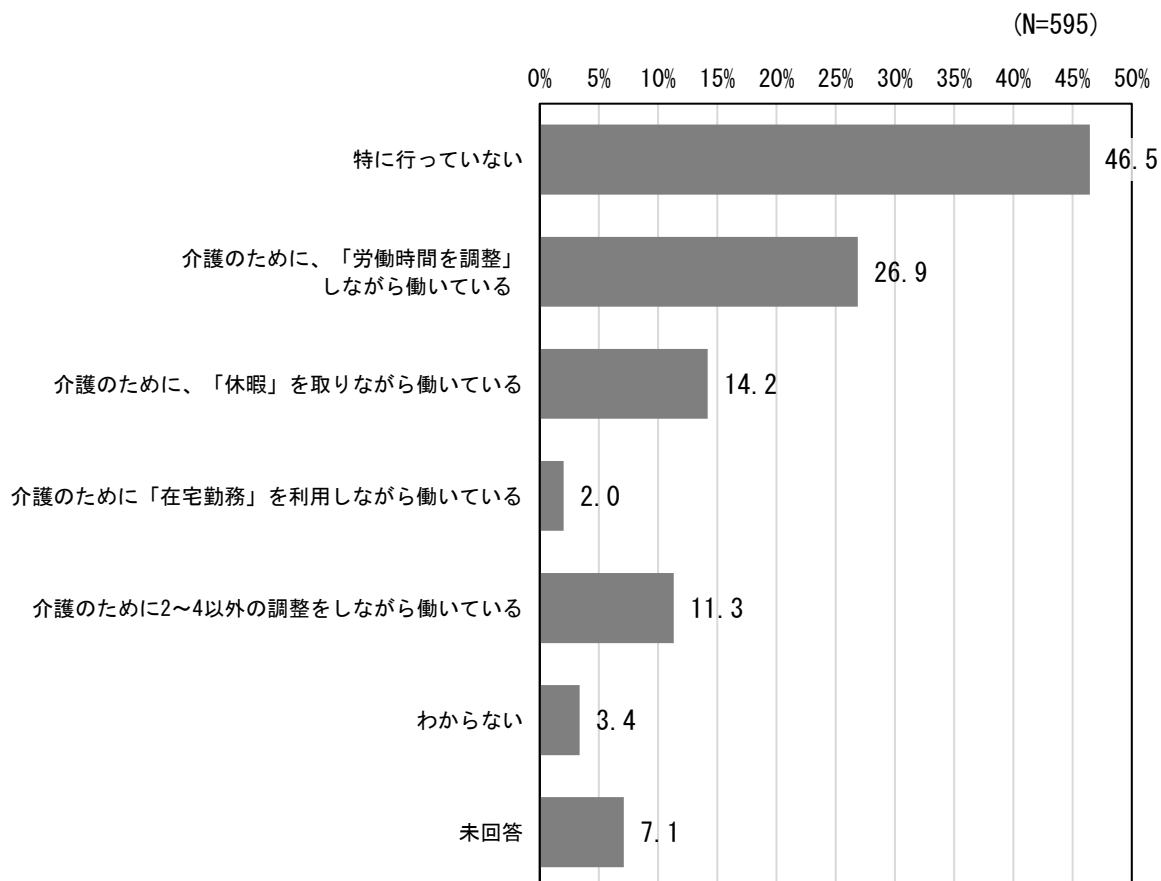
### 【勤務形態】

- ・主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が49.4%と最も多く、次いで、「フルタイムで働いている」が16.4%となっている。



### 【介護のための働き方の調整について（複数回答）】

- ・「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いてる」答えた方に介護をするにあたって働き方の調整をしているか聞いたところ、「特に行っていない」が46.5%と最も多く、次いで、「介護のために「労働時間を調整」しながら働いている」が26.9%となっている。



◆ 就労継続に必要な支援

(複数回答)

・就労継続に必要な支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.3%と最も多く、次いで、「制度を利用しやすい職場づくり」が27.8%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が24.3%となっている。

